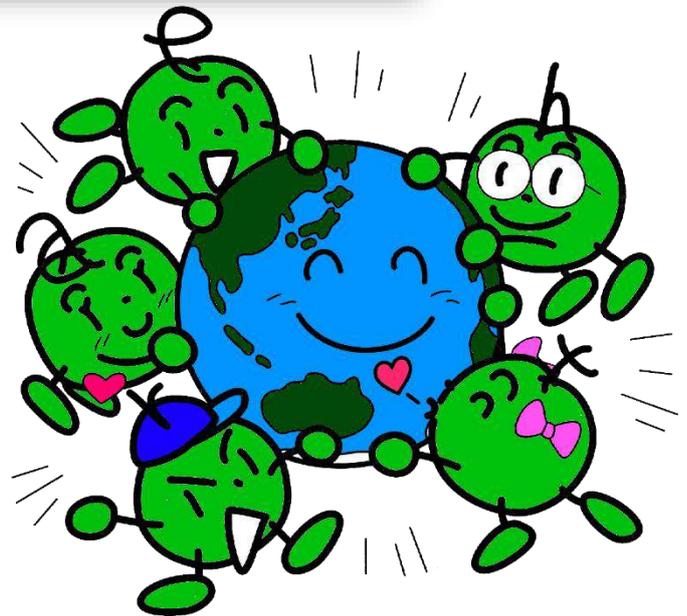


令和5年度

こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024

～集まれ☆全国のSDGs チャレンジャー!～

実施報告書





## はじめに

こどもエコクラブは、子どもたちの環境保全活動や環境学習を支援することにより、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育み、地域の環境活動の環を広げることを目的として1995年にスタートしました。事業開始から30年近くが経過し、こどもエコクラブの卒業生たちが活動を通じて培った力を発揮し、後輩たちへ伝えはじめています。

2023年度は、全国で2,193クラブ、92,274人の幼児から高校生までの子どもたちが、それぞれの地域に根ざした環境活動を行い、2024年3月に1年間の活動の締めくくりとして、こどもエコクラブ全国フェスティバルを開催しました。本フェスティバルはコロナ禍を乗り越え5年ぶりに完全対面で開催し、参加した子どもたちは、活動をまとめた壁新聞や絵日記、デジタル作品をもとに日々の活動などを発表するとともに、それぞれの作品に関するクイズに答え合い、説明や質問をし合う対面開催ならではの交流を深め、今後も地域での活動を継続していくことを誓い合いました。また企業・団体展示コーナーも出展数がコロナ禍前に戻り大変賑わいました。子どもたちはたくさんのブースを見学して企業・団体の環境への取り組みについて楽しく学び、考える機会を持ちました。

こどもエコクラブの卒業生からなるAll Japan Youth Eco-clubのメンバーをはじめ、現登録クラブの高校生メンバーや様々な大学の学生たちがボランティアとして本フェスティバルに参加し、前日準備から当日のプログラムの企画や運営をサポートしてくれました。彼らユース世代の活躍はメンバーにとって憧れのステキな先輩として、またサポーターにとっては次代の頼もしいリーダーとして映ったに違いありません。こどもエコクラブを通して持続可能な社会づくりを担う人材が育っていることを改めて確認することができました。

本報告書は、この全国フェスティバルの様子をまとめたものです。こどもエコクラブをご理解いただき、今後の連携・協働を進める上で、ご参考になれば幸いです。

## 目次

開催概要	3	受賞作品一覧	13
プログラム	4	幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与	15
オープニングセレモニー	5	クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定	15
交流タイム「エコアクションズ ～みんなもできているかな～」	5	クロージングセレモニー	16
エコ活セッション	6	子どもたちからの活動レポート	17
企業・団体の環境への取り組みを見てみよう!	7	サポーターの声	17
みんなでクイズ大会	10	参加クラブ一覧	18
来賓挨拶	11	広報・普及活動	19
表彰式	11	こどもエコクラブ支援企業・団体一覧	21

## 開催概要

- イベント名:「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024 ～集まれ☆全国の SDGs チャレンジャー!～」
- 実施目的:熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。

### 称える

活動発表や展示の機会を設け、一年間のがんばりを称え合う。

### 交わる

全国で活動する仲間(子ども・大人)の交わりの場を提供する。

### 知る

様々な体験学習を通じて新しい発見を得る。

### 広める

「こどもエコクラブ」事業への理解と参加を広く呼びかける。

- 開催日 :2024年3月24日(日)
- 会場 :国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- 主催 :公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)
- 後援 :環境省、文部科学省、こども家庭庁、消費者庁、  
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、  
全国小中学校環境教育研究会、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力 :こくみん共済 coop<全労済>、株式会社タカラトミー、株式会社ミールケア
- 出展企業・団体:  
一般社団法人イエローピンプロジェクト、エコチル(株式会社アドバコム)、  
SGホールディングスグループ(佐川急便)、株式会社エフピコ、加山興業株式会社、  
国立環境研究所 気候変動適応センター、コンタクトのアイシティ、  
全国牛乳容器環境協議会、トヨタ自動車株式会社、日本環境教育学会、  
日本CCS調査株式会社、一般社団法人日本WPA、  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、  
リサイクル・プラザ JB(株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)、  
公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局
- 協力 :All Japan Youth Eco-club、株式会社共立理化学研究所、  
ケニス株式会社、目白大学 人間学部児童教育学科 石田ゼミ、  
株式会社龍角散、早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE
- 参加者 : 327名

- ・都道府県代表クラブ:196名(子ども106名、大人90名)
- ・絵日記受賞メンバー:8名(子ども5名、大人3名)
- ・デジタル作品受賞メンバー:7名(子ども4名、大人3名)
- ・一般来場者:10名
- ・省庁、こどもエコクラブ自治体担当者、支援企業団体等 関係者:22名
- ・出展企業・団体担当者:46名
- ・ユースボランティア、スタッフ:38名

### 「全国エコ活コンクール」各部門にて選出

#### ○都道府県代表クラブ

1年間の活動などをまとめた「壁新聞」をもとに、独創性・発展性・アピール力・地域への密着性等の観点から選ばれたクラブ。各都道府県から原則1クラブ選出。

#### ○絵日記受賞メンバー

1年間で印象に残った活動等を描いた絵日記の優秀賞受賞メンバー。

#### ○デジタル作品受賞クラブ

1年間の活動などをまとめた映像・パワーポイントなどの作品の優秀賞受賞クラブ。

## プログラム

時 間	プログラム	展 示
9:30～10:00	◆集合、受付	
10:00～10:05	◆オープニングセレモニー はじまりのあいさつ 司会:こどもエコクラブ卒業生	
10:05～10:25	【交流タイム】「エコアクションズ ～みんなもできているかな～」 進行:早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE 参加者のエコアクションを確認しながらアイスブレイク。たくさんエコアクションができていない人を中心に、1分PRをします。	
10:25～10:45	◆企業・団体紹介 ・企業・団体ブースで展示している環境に関する取り組み内容の紹介	
10:45～11:45	◆エコ活セッション 壁新聞や絵日記、デジタル作品をもとに、子どもたちが日頃の活動を発表・取材しあいます。	
11:45～14:25	◆昼食 ◆みんなでクイズ大会 それぞれのクラブが考えた作品に関するクイズを、みんなで出しあい答え合うクイズ大会をします。 ◆企業・団体ブース見学 企業・団体ブースを回って、最新の環境への取り組みを学びます。 ◆活動フォトコンテスト投票 「クラブ活動フォトコンテスト」の「こどもエコクラブ年間賞」と「ケニス年間賞」を投票により決定します。	・全国から届いた壁新聞や絵日記、デジタル作品の展示
14:25～14:40	◆集合写真撮影	・活動フォトコンテスト
14:40～14:50	◆来賓挨拶 環境省 環境副大臣 八木 哲也 様(ビデオメッセージ)	受賞作品展示・年間賞投票(～14:25まで)
14:50～15:20	◆表彰式 【壁新聞部門】 環境大臣賞:北海道釧路市「こどもエコクラブくしろ」 文部科学大臣賞:愛知県半田市「半田こどもエコクラブ」 日本環境協会賞:鹿児島県宇検村「阿室小中学校エコクラブ」 こくみん共済 coop 賞:秋田県秋田市「ひろおもてエコクラブ」 タカラトミー賞:宮城県南三陸町「南三陸少年少女自然調査隊」 【幼児部門】ミールケア・エコまる賞: 兵庫県尼崎市「認定こども園七松幼稚園」 【絵日記部門】優秀賞: 山谷 聡友さん(青森県弘前市「HEP21 エコクラブ」) 上米良 心菜さん(鹿児島県宇検村「阿室小中学校エコクラブ」) 永山 衣都さん(福島県いわき市「いわき市立高坂小学校 SDGs 隊」) 池田 慎太郎さん(大阪府大阪市「せいわエコクラブ」) 【デジタル作品部門】 大阪府大阪市「せいわエコクラブ」 【活動フォトコンテスト年間賞】 2023 年度こどもエコクラブ賞: 福岡県福岡市「福岡工業大学附属城東高等学校」 2023 年度ケニス賞:滋賀県近江八幡市「里山みんなの未来くらぶ」	・こどもエコクラブ応援企業・団体一覧
15:20～15:30	◆クロージングセレモニー ・全国フェスティバルのふりかえり ・閉会の挨拶	

## オープニングセレモニー

今年の全国フェスティバルは、こどもエコクラブ卒業生が司会進行を担当。メンバーだった数年前にも全国フェスの司会をしたことのある経験者です！自身が活動していた頃や全国フェスティバルに参加した時を思い出しながら、今回は迎え入れる側として全国各地から集まったクラブの子どもたちを明るく元気に歓迎してくれました。

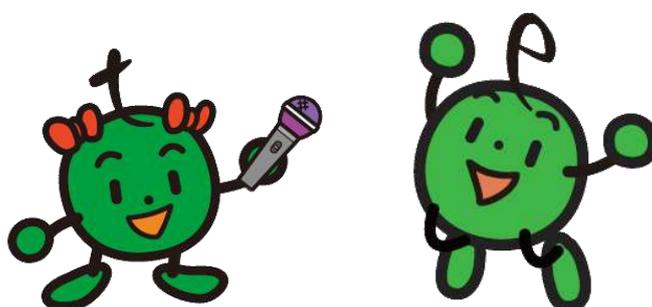
受付や会場誘導などにもボランティアとして多くの高校生・大学生が参加、さらにこどもエコクラブの人気キャラクター「エコまる」も駆けつけ、5年ぶりの完全対面開催に子どもたちも大興奮！全国の仲間たちとたくさん交流して、色々な活動や取り組みを学ぶぞ！という気合いのあふれるオープニングとなりました。



## 交流タイム「エコアクションズ ～みんなもできているかな～」

全国からどんなクラブが来ているのかな？どんな活動をしているのかな？参加メンバーは初めて会う全国の仲間や大きな会場に緊張気味。全国フェスティバルのメインプログラムである「エコ活セッション」をより楽しんでもらえるよう、緊張をほぐしてお互いを知る交流プログラムを行いました。

企画・進行を担当してくれたのは早稲田大学学生環境NPO 環境ロドリゲス ecoSMILE のみなさん。「ゴミ拾い活動に参加したことがあるか」などのお題に沿って自分たちの普段の行動について振り返り、最後まで残ったメンバーの中から自己紹介をしてもらいます。みんな自分の行動を振り返ってメンバー同士で確認しあいながら、楽しそうにお題ができていかどうかを考えていました。自己紹介では少し緊張しつつ、自分やクラブのこと・今日の目標を話して、どんな仲間が来ているのかを知りました。楽しく考えて笑って、緊張もすっかりほぐれたみんなは元気いっぱい！自分たちの活動を紹介したい・他のクラブの活動の話も聞きたい！という思いが溢れていました。



## エコ活セッション

早速、全国フェスティバルのメインプログラム「エコ活セッション」がスタート！6つのグループに分かれて、日頃行っている環境活動をまとめた壁新聞や絵日記、デジタル作品をもとにメンバーたちが発表を行い、他のクラブがそれを取材しました。

たくさんの人にわかりやすく伝えられるよう事前練習をしていたようで、どのクラブもハキハキ・堂々と発表していました。手作りのボードや資料を用意しているクラブや、活動内容に関するキーホルダーを作ってきたクラブなど、それぞれ活動を伝える工夫が盛りだくさんの発表でした。メンバーからの質問はもちろんサポーターなど大人からの質問にも、子どもたち自らが考えてしっかりと答える頼もしいクラブも多く、日頃の活動への真剣な取り組み方やメンバーの活発さがうかがえました。また、取材の時は子どもたちみんな熱心にメモを取っており、聞いている表情も真剣そのもの。全国のクラブの活動を知って、自分たちの活動のヒントもたくさん得たようです。

地域は違っても同じ分野で活動している「こどもエコクラブの仲間」として、いろいろなクラブと積極的に名刺交換や情報交換し合った子どもたち。交流を深めたクラブと協力・再会の約束をするメンバー、以前の全国フェスで仲良くなったクラブとの再会に喜ぶメンバーもいました。日頃はクラブ単独で活動することが多い中、自分たちだけじゃない、全国でたくさんの仲間がいることを改めて感じ、これからも頑張ろうという意欲と元気がさらに高まっていました。

このプログラムも、ユース世代が司会進行を行いました。子どもたちの熱心な様子にユースたちも圧倒され、自分たちも負けていけない！と大きな刺激をもらっていました。



## 企業・団体の環境への取り組みを見てみよう！

子どもエコクラブを応援している企業・団体にブースを出展していただき、それぞれの企業・団体が取り組んでいる環境に優しい様々な取り組みについて紹介いただきました。環境対策を担当している企業・団体の方から直接話を聞いたり質問したりすることは、クラブにとって大変貴重な体験となっており、メンバーからもサポーターからも毎回大好評のプログラムです。今回は 5 年ぶりの完全対面で企業・団体の出展ブース数もコロナ禍前に戻り、昨年の倍となりました。それぞれのブースではたくさんの質問が飛び交い、企業団体と子どもたちの交流で大変賑わっていました。

様々なブースの見学を通して新たな発見や学びを得て、持続可能な社会づくりに取り組んでいる社会の動きを実感した子どもたちは、それぞれのブースで学んだこと・感じたことを書きとめるとともに、「子どもエコクラブからのメッセージ」として会場に展示しました。これらのメッセージは、参加した企業・団体に届け、今後の環境に関わる活動の参考にしていただきます。



### ● 企業・団体の出展内容

#### 一般社団法人イエローピンプロジェクト

プログラミングで海のSDGs！についてクイズで学びました。プログラミングを学びながら海洋ごみについて考えることができるワークショップはとても魅力的で、たくさんの人に知ってもらう工夫や、伝えていくことの大切さを実感しました。



イエローピンプロジェクト  
 ・海のSDGs  
 ・プログラミングを通して子ども達にしてみよう  
 ・どうして、プログラミング  
 ・クイズなどおもしろいくふうをしていてすごい

#### エコチル(株式会社アドバコム)

子ども向け環境情報誌「エコチル」で地域に合わせた内容のニュースが全国各地で毎月発刊されていることを知りました。学校で配布されているので、知っているメンバーもたくさんいました。



エコチル さんへ  
 小学生の時に読んでました。  
 どれも分かりやすくかいてあって、おもしろかったです。  
 中学校にもぜひ読んでほしいです。

#### SG ホールディングスグループ(佐川急便)

荷物の配達に関するエコとして「環境対応車の導入」に加えて、ペットボトルをリサイクルした「エコユニフォームの使用」や「高尾 100 年の森」での森林・生物多様性の保全活動の取組を学びました。



佐川急便さんへ  
 はいちつしている中で環境にはいろいろしたところ(リサイクルユニフォーム)トラックのEV化、里山作りがすごくいいなと思いました。

## 株式会社エフピコ

食品トレーのリサイクルの技術について、クイズやゲームで学びました。食品トレーには種類があることやそれぞれの分別、何にリサイクルされるのかなどがわかり、きちんとリサイクルに出すことの大切さを実感しました。



エフピコさん  
 日常で使う容器にも  
 「いろいろな種類があり、  
 分別も変わってくるのか、  
 よくわかりました。  
 知っているのでもちがうことを  
 理解し、どのような分別がとれ  
 ているかを知ることができました。

## 加山興業株式会社

実際の資源を見ながら産業廃棄物のリサイクルや処理方法を学びました。また環境指標生物のみつばちを用いた「みつばちプロジェクト」が、環境保全や地域貢献に繋がることを知りました。



KAYAMA  
 みつばちの特長を利用して  
 環境に役立つ事ができるのが  
 すばらしいアイデアだなと思  
 います

## 国立環境研究所 気候変動適応センター

「気候変動への適応」について、すごろくや動画などで学びました。一人ひとりが地球温暖化を防止するために気をつけることはもちろん、適応していくことの大切さも知り、これからの生活の仕方の参考になりました。



① 気候変動適応センター  
 「CO2を削減しよう」という  
 気持ちも大切だけど、防災  
 適応していく」ということも  
 すごく大切だと思いました。  
 「適応」していくことも  
 まわりの人へは伝えてい  
 たいです!!

## コンタクトのアイシティ

使い捨てコンタクトの空ケースを回収してリサイクルし、様々な製品に生まれ変わっていることを学びました。また空ケースのリサイクルが自立・就労支援や寄付につながっていることも知り、様々なことに貢献できることに驚きました。



コンタクトのアイシティへ  
 もやさないでリサイクルをして  
 地球温暖化にはいいこと  
 があることいいと思いました。  
 そして利益をのこすことが  
 すごくよかったです。  
 ☆  
 ☆  
 ☆

## 全国牛乳容器環境協議会

紙パックのリサイクルのルールや、紙パックをリサイクルすることでできるSDGs課題解決への貢献について、紙パックからできたパルプなどを見て学び、分別の大切さについて理解を深めました。



全国牛乳容器環境協議会  
 さん  
 牛乳パックは、3つに分  
 かれていたことがびっくりし  
 ました。  
 いつも、学校で牛乳を飲む  
 ので、そういうことも考えて  
 これからは牛乳を飲んで  
 いきたいなあと思いました。  
 私、少しでも牛乳パックを  
 リサイクルしたりして、地球の  
 問題をへらしていきたいです。

## トヨタ自動車株式会社

「トヨタ環境チャレンジ 2050」として、CO2を減らす工夫や節水、車のリサイクル、そして動植物の保全などたくさんの取り組みをしていることをクイズを通して知りました。また、車のリサイクルされる割合に驚きました。



TOYOTAさん  
クイズで1問だけまちが  
っていたのがくやしかった  
です。  
でも環境を守るために大切  
なりサイクルトヨタはクルマの  
約99%もリサイクルをしてい  
ると分かって、とてもびっくり  
しました。  
これから、がんばってけい  
い。

## 日本環境教育学会

第2回「2050年、社会はこうなってほしい。炭素ゼロ社会をつくる」アイデア募集コンテストの優秀作品を実際に見て、色々なアイデアに驚きました。将来の環境保全に貢献する人づくりの大切さも知りました。



⑦ 今日作品を応募  
しました。ぜひ、  
作品をコラボレ、実現  
したいです。また、森さん  
にお会いしたいです!!

## 日本CCS調査株式会社

地球温暖化の対策として、工場などから排出される二酸化炭素を地中に封じ込める技術「CCS」について、模型などで確認しながら学びました。驚きの技術と方法について知り、環境問題への取り組みは幅広いことを学びました。



JCCS  
CO2を地中に深くしこめる  
技術が確立すれば、~~CO2~~CO2  
を減らすことができると  
思っています。

## 一般社団法人日本WPA

印刷の仕組みを実際にルーペで観察して学びました。また環境にやさしい水なし印刷がどのような印刷方法なのかを知り、普段使っているものからも環境に対する取り組みができることが分かりました。



きん  
い、んつが、この  
ものがよくふんちが  
はかんき、よくでき  
るといいました。  
日本WPA

## 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

容器包装のリサイクルがどうなっているのか、なにに生まれ変わるのかを、リサイクル過程の「カレット」や「フレーク」などを実際に見ながらクイズ形式で学びました。あまり見る事のないリサイクル過程を見る事で、分別がリサイクルにつながっていることを実感しました。



リサイクルをするときに、分別など  
をすることは知っていたけれど、  
その後やさらになどは、初めて知  
ることができました。  
他にもあると思うので調べて  
みたいですね。

## 文化シャッター株式会社

100%リサイクル素材の「テクモク」の色々な使い方を学びました。高い耐久性があって公園など身近な場所で使われていることや、実際の手触りを確かめて、硬さや木の匂いに驚きました。



文化シャッター  
・プラスチックと木を  
まぜることでそれぞれ  
良いところを出せるよう  
な、話が勉強に  
なりました。

## リサイクル・プラザ JB (株式会社ジャパンビバレッジエコロジー)

ペットボトルのリサイクル途中の素材の実物を見ながらリサイクルの工程について学びました。リサイクル時のパーツの仕分けや運搬の省エネなど様々な工夫がされていることも知り、分別とリサイクルの大切さについて実感しました。



リサイクル・プラザ JB セン  
ペットボトルのラベルを剥が  
すのは大変な作業だと思  
い、水で洗って剥がす  
ように、白紙で拭き  
取るといいと思いました。

## 公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局

エコマークについて、クイズを解いたり実物を見たりしながら「どんなものにエコマークが付いているか」「どのくらいあるか」などを学びました。またみんなが実際に見つけたエコマークを見て、身近にたくさんあることを知りました。



エコマーク  
エコマークが店などにも  
あることは以前から知  
り、エコマークがし  
らべて思いました。

## みんなでクイズ大会

クラブ同士がそれぞれの作品をもとに交流する「みんなでクイズ大会」を実施しました。自分たちの壁新聞や絵日記、デジタル作品に関するクイズを事前に考えてきてもらい、みんなで答え合うプログラムです。作品の前にはクイズを作成したクラブの数人が待機して説明や質問対応を行い、クイズにチャレンジするメンバーは今回参加した31クラブ分のクイズを全部解こうと、みんな目を輝かせて回っていました。クイズを通して興味がわいたクラブに積極的に話しかけて活動内容について質問し合い交流している姿や、答えを探そうと真剣な眼差しで作品を読む姿もあり、あちこちでクラブ同士のわいわいとした会話や「わかった！」という楽しげな声が聞こえてきました。

全国のクラブは多種多様な内容の活動をしているため、「こんな活動もあるんだ、やってみたい!」「地域が違っても生き物も違うんだね」「ここは自分たちと同じ活動をしているね、結果を比べてみたい!」など、全国からクラブが集まる全国フェスティバルならではの感想や交流も生まれていました。活動のヒントや刺激をたくさん受けたことで、これからの活動にますます気合いが入ったようです。



## 来賓挨拶

こどもエコクラブの活動を応援している環境省から、八木哲也環境副大臣よりビデオメッセージをいただきました。みんなの作品から熱意をもって楽しんで取り組んだことが伝わってくることや、全国フェスで学んだことをまわりに伝え、仲間をもっともっと増やして活動の輪を広げて後輩に伝えていってほしいこと、こどもエコクラブのみんなが大人をも引っ張っていく気持ちで活動していってほしいという期待など、温かく心強い応援のメッセージをいただきました。たくさんの方が子どもたちの活動を応援してくれていることがわかるとても心強いメッセージに、みんな勇気づけられたのではないのでしょうか。



## 表彰式

1年間の活動についてまとめた壁新聞や、1年間の活動で印象に残った活動・みんなに伝えたい活動を描いた絵日記、日頃の活動をまとめたデジタル作品を募集した「全国エコ活コンクール」の受賞クラブ・受賞メンバーに対して、環境大臣賞をはじめとする各賞が贈られました。

デジタル部門は2023年度から新設した部門で、動画やパワーポイントを用いた作品ならではの工夫にあふれた素晴らしい作品が寄せられました。



壁新聞部門 環境大臣賞:こどもエコクラブくしろ



### 壁新聞部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
環境大臣賞	こどもエコクラブくしろ(北海道釧路市)
文部科学大臣賞	半田こどもエコクラブ(愛知県半田市)
日本環境協会賞	阿室小中学校エコクラブ(鹿児島県宇検村)
こくみん共済 coop 賞	ひろおもてエコクラブ(秋田県秋田市)
タカラトミー賞	南三陸少年少女自然調査隊(宮城県南三陸町)



文部科学大臣賞:半田こどもエコクラブ



日本環境協会賞:阿室小中学校エコクラブ



こくみん共済 coop 賞:ひろおもてエコクラブ



タカラトミー賞:南三陸少年少女自然調査隊



絵日記部門 受賞メンバー

賞名	クラブ名	名前
優秀賞	HEP21 エコクラブ(青森県弘前市)	山谷 聡友さん
優秀賞	阿室小中学校エコクラブ(鹿児島県宇検村)	上米良 心菜さん
優秀賞	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊(福島県いわき市)	永山 衣都さん
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)	池田 慎太郎さん



山谷 聡友さん



上米良 心菜さん



永山 衣都さん



池田 慎太郎さん



デジタル作品部門 受賞クラブ

賞名	クラブ名
優秀賞	せいわエコクラブ(大阪府大阪市)



せいわエコクラブ



壁新聞



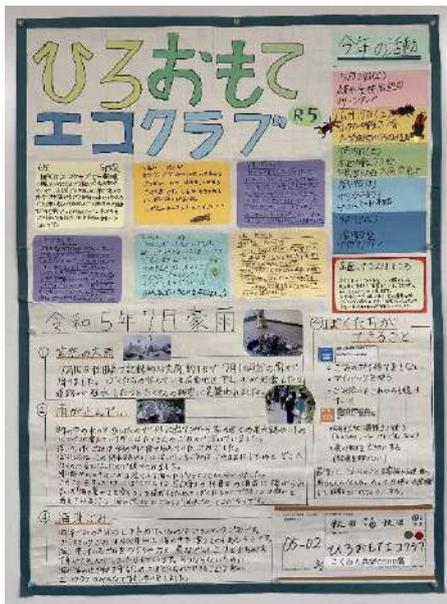
◆環境大臣賞  
こどもエコクラブくしろ  
(北海道釧路市)  
「こどもエコクラブ壁新聞 釧路湿原  
エコ活通信 2023」



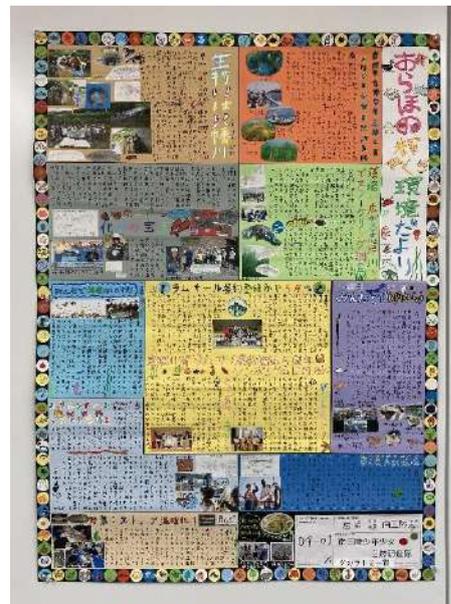
◆文部科学大臣賞  
半田こどもエコクラブ  
(愛知県半田市)  
「愛知の自然」



◆日本環境協会賞  
阿室小中学校エコクラブ  
(鹿児島県宇検村)  
「阿室っ子環境文化新聞」



◆こくみん共済 coop 賞  
ひろおもてエコクラブ  
(秋田県秋田市)  
「ぼくたち、わたしたちができること」



◆タカラトミー賞  
南三陸少年少女自然調査隊  
(宮城県南三陸町)  
「おらほの輝く環境だより」

# 絵日記



◆優秀賞  
 山谷 聡友さん 「ふっ活だんぶり池」  
 HEP21 エコクラブ (青森県弘前市)



◆優秀賞  
 上米良 心菜さん 「小さな取り組みで地球を救おう！」  
 阿室小中学校エコクラブ (鹿児島県宇検村)



◆優秀賞  
 永山 衣都さん 「花いっぱいの未来へ」  
 いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 (福島県いわき市)



◆優秀賞  
 池田 慎太郎さん 「楽しかった磯観察」  
 せいわエコクラブ (大阪府大阪市)

# デジタル作品部門

◆優秀賞 せいわエコクラブ (大阪府大阪市) 「知ろう！NO2(二酸化窒素)とソラダス」

※作品QRコード



## 幼児クラブを対象とした「ミールケア・エコまる賞」の授与

全国フェスティバルへの参加が難しい、保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査を行い、株式会社ミールケアのご提供により「ミールケア・エコまる賞」を贈呈し、クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて、表彰状を授与するとともに、メンバーと一緒に楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行います。

今回受賞した認定こども園七松幼稚園には3月27日に訪問、プログラムを実施しました。



認定こども園七松幼稚園  
(兵庫県尼崎市)  
「ちきゅうにやさしいしんぶん」



表彰の様子  
(2024. 3. 27)

## クラブ活動フォトコンテスト年間賞の決定

(協力:ケニス株式会社、株式会社共立理化学研究所)

こどもエコクラブの元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いをたくさんの人に知ってもらい、エコの環を広げることを目的に行っている『クラブ活動フォトコンテスト』の2023年度第1期～第3期の入賞作品すべてを展示し、全国フェスティバルの参加者全員の投票を行い、年間賞を決定しました。



■2023年度こどもエコクラブ賞  
福岡工業大学附属城東高等学校 科学部  
(福岡県福岡市)  
「カブトガニの幼体調査その2」



■2023年度ケニス賞  
里山みんなの未来くらぶ  
(滋賀県近江八幡市)  
「不耕起田んぼで生き物観察」



## クロージングセレモニー

最後にみんなで全国の仲間たちとの交流や活動発表、企業・団体ブースの見学で「わかったこと」「学んだこと」などを振り返りました。

メンバーから次々と手が挙がり、全国フェスティバルに参加できて良かったことや全国の仲間と交流して楽しかったこと、みんなの作品の素晴らしさや企業団体のみなさんの取り組みについて学べたことなど、全国フェスティバルでたくさんの刺激を受けたことが分かる発言がありました。

最後に、今日一日司会や進行を担ってくれたユースたちと参加者みんなで「こどもエコクラブ憲章」を読み上げ、これからもSDGsへのチャレンジを続けて活動を広げていくことを誓い合いました。

また次回の全国フェスティバルは大阪で開催されることも発表されました。みんな次回は大阪で会おう！

と約束して、「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2024～集まれ☆全国のSDGsチャレンジャー！～」を閉幕しました。



## みんなで集合写真



## 子どもたちからの活動レポート

全国フェスティバル終了後、地域に帰ったそれぞれのクラブから、全国フェスティバルで感じたこと、わかったこと、多くの仲間へ伝えたいことなどを満載した活動レポートが届きました。クラブからのレポートは、参加できなかった全国の仲間や関係者、その他多くの皆さんに発信するため、子どもエコクラブウェブサイトでも紹介いたします。



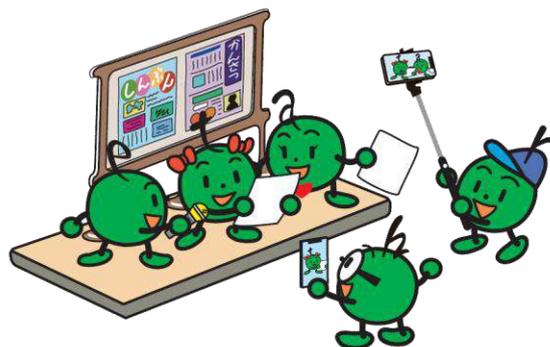
## サポーターの声(一部抜粋)

- 全国のクラブの皆さんの熱を力強く感じました。企業のエコアクションは知っているものの、ご本人(当事者)からの思いを聴くと感心する部分も多くあり、自分も協働(協力)できる事があるのかもしれないと思いました。
- 全国から集まったみなさんの壁新聞を一同に見ることができて、驚きと感心でいっぱいでした。
- メンバーが、県の代表として参加していることを誇りに感じていることが何よりの成果だと思いました。全国にこんなにたくさんのクラブがあり、たくさんのメンバーが活動していることを目の当たりに出来て、明らかに子どもたちの変化を感じました。これからの活動へも意欲満々です。
- いろんな子どもたちの発表を聞き、子どもたちのやる気を感じるとともに、普段の活動が全国の環境活動をしている人と繋がっている事を肌で感じました。
- 普段交流できない他県のグループと関わる機会があり、とても良い刺激となった。エコ活動をしている企業について知ることができた。
- 都会と田舎、北と南、住む地域によってエコ活動の内容が全く異なっていてとても興味深かったです。また企業ブースも子どもたちを楽しませる工夫があつて良かったです。

## 参加クラブ一覧

### 【壁新聞部門】

都道府県	市区町村	クラブ名	壁新聞タイトル
北海道	釧路市	こどもエコクラブくしろ	こどもエコクラブ壁新聞 釧路湿原エコ活通信 2023
青森県	弘前市	HEP21 エコクラブ ※絵日記部門でも参加	わたしたちとだんぶり池の仲間たち
宮城県	南三陸町	南三陸少年少女自然調査隊	おらほの輝く環境だより
秋田県	秋田市	ひろおもてエコクラブ	ぼくたち、わたしたちができること
福島県	いわき市	いわき市立高坂小学校 SDGs 隊 ※絵日記部門でも参加	ハス再生新聞
茨城県	水戸市	逆川こどもエコクラブ	プラごみ ダイエット 大作戦！！
栃木県	宇都宮市	東峰エコキッズ	郷土食のイナゴの佃煮で学ぶ
群馬県	高崎市	イオンチアーズクラブ高崎	食と食品ロス 環境について学んだこと
埼玉県	三芳町	竹の子エコクラブ	竹の子エコ新聞 2023
東京都	小平市	チーム李	物を作るときの問題点
神奈川県	横浜市	二ツ池こどもエコクラブ	二ツ池新聞
新潟県	魚沼市	三ツ星エコクラブ	三ツ星エコ新聞 自発的な意志による行動から活動の広がりへ
静岡県	富士市	SBJ えこフレンズ	一年間で活動したいこと
愛知県	半田市	半田こどもエコクラブ	愛知の自然
三重県	亀山市	魚と子ども Kids クラブ	メンバーが見た！海ゴミの深刻な現状
滋賀県	守山市	認定NPO 法人 びわこ豊穰の郷 目田レンジャー	目田レスキュー新聞2ー仲間がふえたよ！ー
大阪府	大阪市	せいわエコクラブ ※絵日記部門、デジタル部門でも参加	知ろう！NO2(二酸化窒素)とソラダス
兵庫県	神戸市	玉一アクアリウム	明石川と共に生きる～玉一アクアリウム 明石川オリジナル図鑑
奈良県	天理市	福住こどもエコクラブ	1からはじめるお米作り ～販売をめざして～
島根県	出雲市	上津探検隊	ケロケロカエル 調査新聞 17
岡山県	津山市	わくわくエコクラブ	岡山県立森林公園編
高知県	香美市	香美市こどもエコクラブ Happiness	Happiness エコクラブ 10年 未来へ
福岡県	北九州市	ライジングアップ	もじうみ新聞 フードロス削減の巻
熊本県	熊本市	熊本市立菱形小学校 カタプロリーダー会	私たちのほこり カタルパ新聞
鹿児島県	宇検村	阿室小中学校エコクラブ ※絵日記部門でも参加	阿室っ子環境文化新聞
沖縄県	竹富町	西表ヤマネクラブ	西表山猫新聞 VOL.27



## 広報・普及活動

多くの方々に全国フェスティバルの周知を図るため、さまざまな手法を用いて広報活動を行いました。

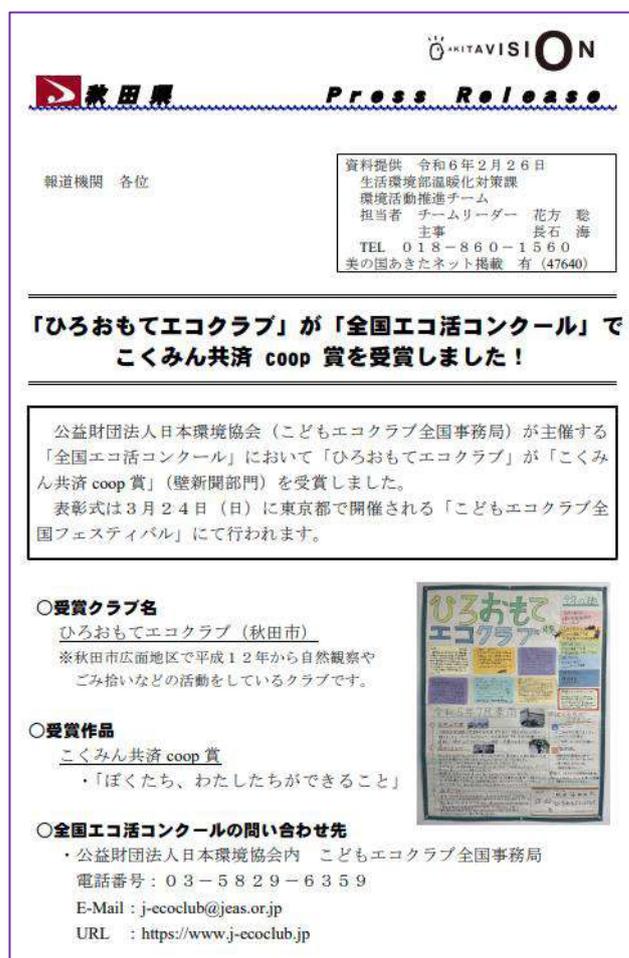
- ・子どもエコクラブホームページ、SNS、メールリスト等にて、全国の登録クラブ及び地方自治体等へ発信。
- ・公益財団法人日本環境協会 プレスリリース
- ・環境省、文部科学省、子ども家庭庁、消費者庁の記者クラブへのリリース
- ・地方自治体、環境関連施設、環境団体等へのリリース
- ・子どもエコクラブ パートナー企業・団体へのリリース など

都道府県代表のクラブの紹介等、全国フェスティバルに関連する情報は、メディアや各地方自治体、パートナー企業・団体、環境関連施設、環境団体、教育委員会等によって、様々な媒体において掲載されました。

### ◆地方自治体(一部抜粋)



鹿兒島県 (2024.2.27)



秋田県 (2024.2.26)



◆企業・団体等(一部抜粋)



株式会社タカラトミー(2024.2.26)



一般社団法人日本WPA(2024.3.27)



全国牛乳容器環境協議会(2024.3.24)

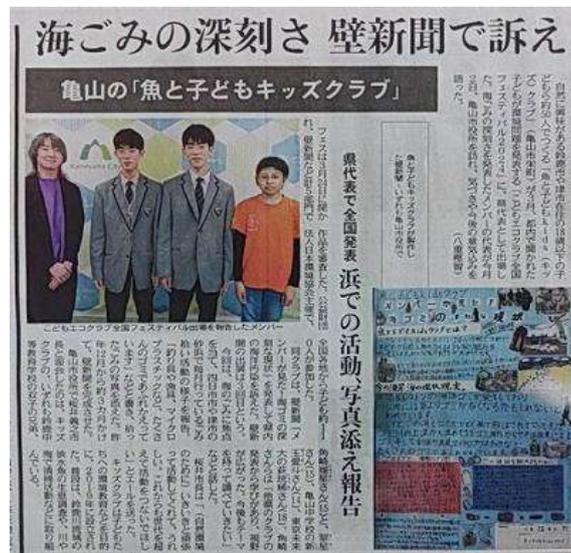


奄美新聞社(2024.2.28)

◆メディア(一部抜粋)



伊勢新聞(2024.4.3)



釧路新聞(2024.4.6)



## こどもエコクラブ支援企業・団体一覧

こどもエコクラブは、多くの企業・団体の支援により活動しております。



アース製薬	国民みらい出版	日本CCS調査
アクサ損害保険	コンタクトのアイシティ	日本 WPA
朝日テクノ	嵯峨野	日本容器包装リサイクル協会
アポクリート	さくら薬局グループ クラフト	Pacific Life Re International
アマノ	産業環境管理協会	長谷工コーポレーション
アルバルク東京	CCCMK ホールディングス	バンダイナムコホールディングス
アントレックス	ジーエス・ユアサ バッテリー	日の丸リムジン
イオンファンタジー	JTB	フォレストパックス
イオン 1%クラブ	JBRC	福岡銀行
出光興産	ジャパンビバレッジエコロジー (リサイクル・プラザ JB)	ふくろうのはね
INNER ENERGY TECHNOLOGY	住商フーズ	ブリヂストン
SG ホールディングスグループ (佐川急便)	住友生命保険	プロントコーポレーション
エネラゴ	3R 活動推進フォーラム	文化シヤッター
エフピコ	積水化学工業	マイنز農業協同組合
塩ビ工業・環境協会	全国牛乳容器環境協議会	マツキヨココカラ&カンパニー
尾上萬	ターナー色彩	ミールケア
加山興業	タカラトミー	三井住友海上火災保険
教育出版	宝ホールディングス	三菱地所レジデンス
共立理化学研究所	鉄建建設	三菱電機
キリン	東京国際フォーラム	メルカリ
熊本銀行	東和興産	山田養蜂場
グリーンクロスジャパン	トヨタ自動車	リード
ケニス	奈良健康ランド 奈良プラザホテル	リトルスタジオインク
こくみん共済 coop 〈全労済〉	ノーリツ	龍角散

(五十音順・2024年3月現在)







■ 公益財団法人日本環境協会(こどもエコクラブ全国事務局)  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階  
TEL 03-5829-6359 FAX 03-5829-6190  
こどもエコクラブウェブサイト <https://www.j-ecoclub.jp/>